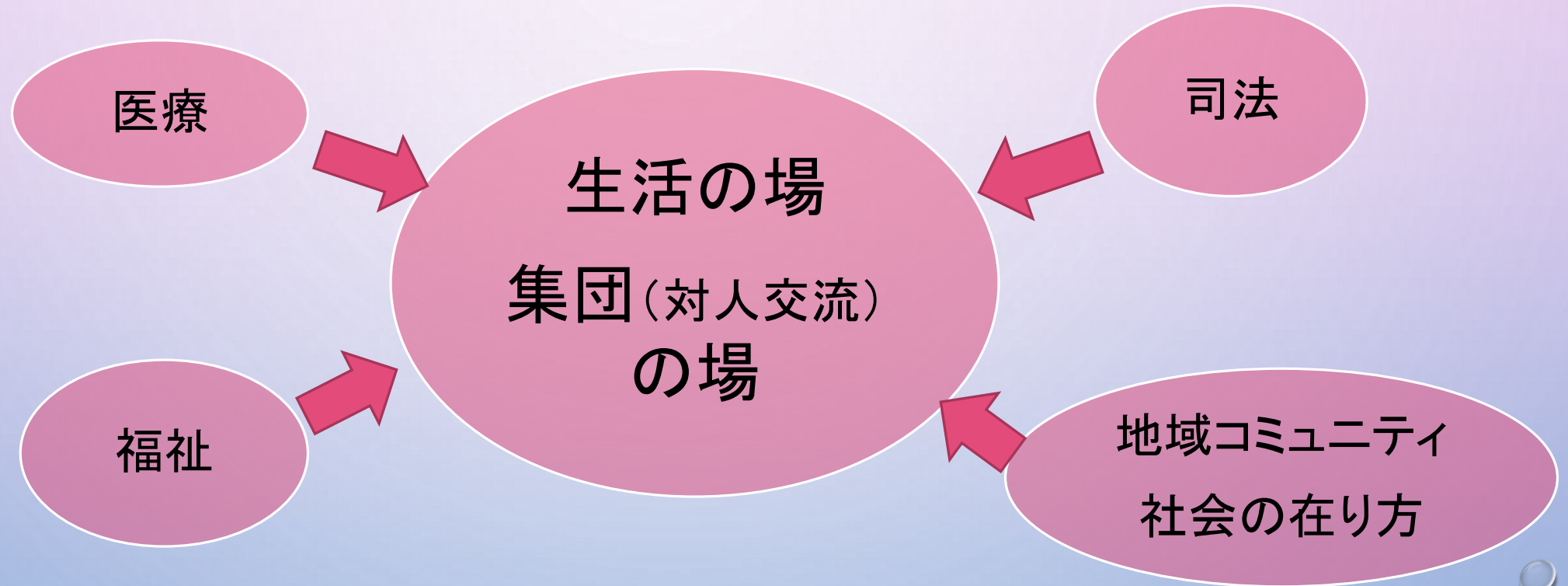


# 小学校での活動

新林智子(にいはやし・ともこ)

2020年8月9日SC研修 午後【初任～3年・分科会】

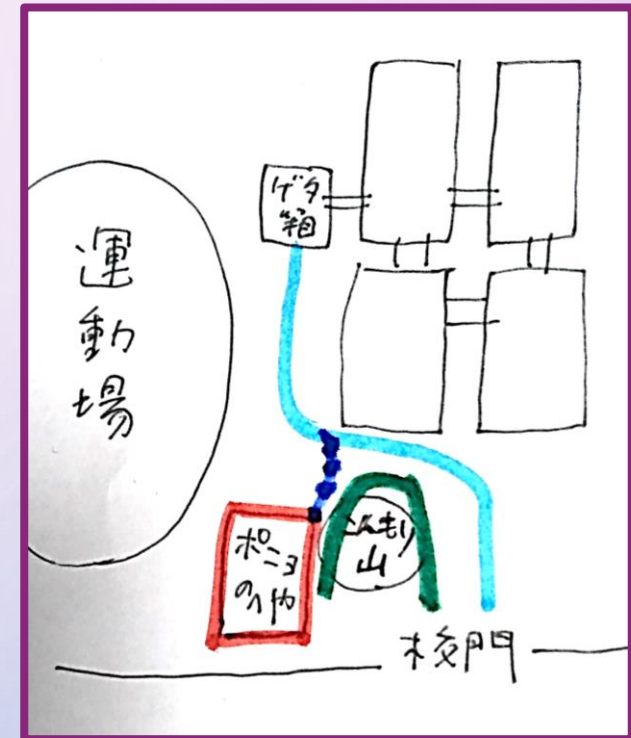
# ①学校臨床は、応用編だ★



子どもたちを、日々、環境と機会で変わりゆく「**成長モデル**」で捉えていこう  
自分の**キャリア**は、学校現場で、なにが、どう活かされるか

## ②子どもの近く♪ を目指す

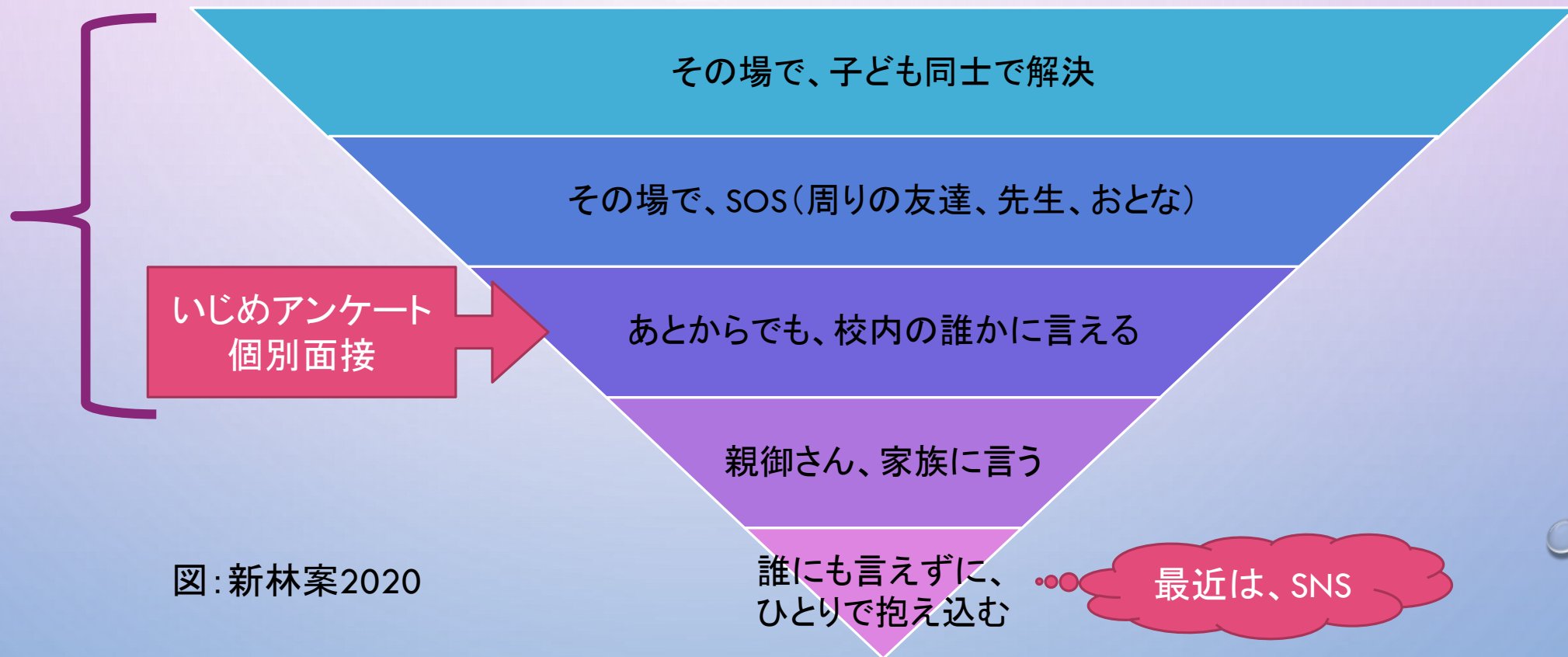
- 「SCは、生活の場にいる人なの？」  
「よくわからない人に、相談はできないよ」の衝撃
- 相談にアクセスしやすく、ハードルを下げる  
「ポニョの部屋」、フリータイム、給食訪問、  
廊下で立ち話、帰りがけにちょっと。
- 子どもたちが【先生に相談しにくい】事態が深刻。とても心配。  
気軽に話せる人もいない場所って、そりゃ、しんどい。もちろんSCもなるけど、毎日学校にいる人の中で、一緒に探す、気持ちを確かめながら。



### ③いじめ事案、でっかくなる前に

この層を  
強く増やす

⇒日頃の活動  
教職員研修  
子どもの授業



図：新林案2020

## ④ チーム学校 1

- 「ああ、先生と働いて楽しいな」 先生の方も「SCと組んで子どもを支えて、よかったな」の積み重ね。
- **関係調整**の役割。「うまいこと、橋渡ししてくれる人」が求められている。「先生が、その子をどう見ているか」を確認しながら、子どもとの関係づくりを手伝う
- 学校が闘っているものは何か、一緒に考え、苦しさを分かち合う。  
(業務の増大。先生の年齢構成がいびつ。保護者が全体状況や、先生の大変さを理解していない場合も多い。どんな対応をとっても、批判が来る)
- 先生の素敵なところを伝え、伸ばす。でも、がんばりすぎておかしくなっているところは**緩める**。

## ④ チーム学校 2

● SCの**窓口**（例えば、生徒指導担当教諭、養護教諭、教頭）の先生に、自分の使い方を  
つかんでもらう。「このSCはこんな動きをできるので、次はこれを頼んでみよう」

➡この関係づくりは、**1年目**が大事。「この子連れてくるから、ちょっと話聞いてもら  
えませんか」「親御さん、困ってて。個人面談で声かけるんで、相談につなぎたい」

● 学校全体で共有したほうがいいと思うものは、**カンファ**や**ケース会議**を提案。

● 管理職とのつながり。焦らず、こちらもよく知る。

他の職員に言えない悩み、課題を語ってくれたら！

➡教職員研修は、この学校のSCだからこそその内容を。

こうしたらもっと素敵な学校になるってのをテーマに。



## ⑤保護者と、いっしょに

- 保護者は、学校の中で何が起きているか見えない。先生じゃない立場で、学校や子どものことを見してくれる**内部の人**が心強い。
- 子どもが学校に行かないってことは、ものすご〜くつらい。相談に来てくれること、結構勇気がいる。

まずは保護者の気持ち、考え受け止める

⇒ **子どもにも、なるべく直接会う**、子どもの言い分を聞く

- 学校との関係を良好に、なるべく敵対しないで（でも必要な時は、**子どもを中心**にして考える）
- （表面的に）相談意欲のない、相談の場に出てこれない親御さんには、会いに行く。よく話を聞くと、かなり厳しい環境で暮らしていたり、問題を抱えていたりする。

# おしまいに

日本の学校はしんどい、そこで働く私たち

## ① 子どもたちの話を聴くのは、すごくおもしろい！

- ・ 夏休み短すぎる！休校中の宿題、めちゃ増えた。学校来たらすぐ、勉強かよ。
- ・ 宿題がない日を作ってよ、宿題が多いよ。塾の宿題も出るんだから。
- ・ 友達と遊びたいけど、友達も忙しい。だからゲームになっちゃう。約束するの大変。
- ・ 塾行って、いい学校に入って、いい大学に行って、そしたらいい就職できるやろ。でも、遊ぶ時間がほとんどない。子どもの時に、こんなに忙しくていいのかな。
- ・ お母さんがたたく。家がつらい。でも学校は楽しい。

## ② SCの横(仲間・職能団体)、縦(SV、ちょっと頼れる先輩)のつながり

- ・ 地域連絡会、全体研修、様々な勉強会・研究会、いろいろ顔を出してみてください。
- ・ 厳しい現場、互いに助け合いましょう～★